
令和7年度 第1回渋谷区地域公共交通会議 議事録

日時:令和7年7月29日(火) 10時30分～

場所:渋谷区役所14階区議会大会議室

参加者:別添参照

議題【報告事項1件】

・デマンド交通実証実験について

○事務局

・傍聴希望者を迎え入れ、資料の確認の上、設置規定の確認と会議の成立を確認

○渋谷区土木部長挨拶

・会長を日本大学理工学部小早川教授に委嘱することを確認

○会長挨拶

○事務局

・事務局から進行を会長に委嘱

【議事(報告事項)デマンド交通の実証実験について】

○事務局

～事務局より説明(資料5)～

【質疑応答】

○京王バス

初乗りの場合の金額はいくらになるか。

また、渋谷区からの補助については、利用料補助以外にもあるのか。

○事務局

GO シャトルの最低料金は580円となる。このため、高齢者などの補助対象者は400円引きとなるので180円で利用可能となる。路線バスは230円だが学バスが180円であり、初乗りが学バスと同等の金額ということもあり、補助額を400円に設定した。

補助対象者には400円の電子タクシーチケットを毎月20枚を上限に補助していこうと考えているが、それ以外では、本実証実験中は区がタクシー車両を借り上げて行う予定である。

○会長

タクシー車両を借り上げということは、その分のコストも見ているということか。

また、実証実験の評価項目について、事業採算性の観点での利用人数など、目標値があれば教えてほしい。

○事務局

その通りである。

実証実験の評価項目の詳細については、現在、GO(株)と調整しているが、まずは利用して頂くことが今年度の最大のミッションだと考えており、1日の利用者数は約200人を目標としていきたい。

○ハイヤータクシー協会

補助の対象について、未就学児を持つ父親も利用可能とのことだが、単独利用も対象なのか。

また、乗降スポットについて、かなりスポットが多いと感じている。乗降スポットが多いと利便性は高くなるが効率は悪くなる、その点をどのように検証していくのか。

○事務局

障がい者の介護者も同様だが、父親も母親も未就学児と同乗する場合に利用可能とする。予約の時にそのような条件を付けたいと考えている。

乗降スポットについては、ご意見の通りであり、GO株と詳細について詰めている。実証実験を行いながら、利便性と効率性を両立できるところを検討していきたい。

○会長

実証実験をやりながら乗降スポットを増減することはあり得るということか。

○事務局

その通りである。

○代々木警察

1日の利用者数の目標を約200人としているが、チケット利用者とそれ以外の利用者の内訳の目標値はあるのか。区からの利用者補助なしでも民間事業としてやっていけるのか。

○事務局

利用者の内訳も現在検討している。GO シャトルの事業として持続可能な目標値が1日約200人ということ。

○会長

事業単独ではなく区の目標値ということか。

○事務局

相乗り事業として1日約200人利用されれば持続可能な形となると考えている。渋谷区の補助無しで200人利用されればベストと思うが、区として高齢者など交通弱者の移動を支援する必要があると考えている。

○会長

いまご指摘いただいた点は整理しておいたほうがいい。補助がある状態と無い状態で事業が成り立つのかどうかなど結果が異なるので、検証項目の中に入れておいたほうがいいのかもかもしれない。

○会長

9月1日から実証実験を開始する。始まってからご意見や改善点が見つかるかもしれない。そのための実証実験でもあると思っている。皆様ぜひご協力をいただければと思う。年度末くらいに一度情報共有いただけるということで、よろしく願いしたい。

○京王バス

補助対象者について、対象者を高齢者などに限定していることでご配慮をいただいていると感じているが、運用していく中で利用者数が芳しくなかったら調整する部分が出てくるかと思う。チケットを利用しての初乗りが180円ということで路線バスの運賃を下回っているの、既存事業者の価格設定を十分ご配慮いただいた中で検討いただきたい。

また、実証実験を開始すると他の渋谷区内のエリアからも運行してほしいという話が出てくるかと思うが、現時点での考えがあれば教えてほしい。

○事務局

まずはこのエリアで成功しないとどうにもならないが、代官山エリアも同様に坂道が多く、要望もいただいている。

利用料金については、実証実験の結果を踏まえて検討していきたい。

以上